

創刊号

2018.6/2

TAKE FREE

Chou*Chou

シュシュ 暮らし時間

ワタシらしい暮らしを一步先に♪ 心地よい住まいと愛着ある暮らし、ココから始めましょう

1-2p IT企業からネギ農家へ、そして新たな活動

「農園歌手」風舞美樺さん

かざま みか

Contents

3p 「夏の疲れをためない！」
ハーブを使った万能レシピ
料理に使える「ハーブの寄せ植え」

4p 街の魅力再発見♪
つつい寄り道したくなる「ときめき街あるき」
Chou*Chou 創刊号プレゼント

5p キッズ公開撮影会 in LALA ガーデンつくば 結果発表

6p 夫婦のこだわり暮らし
自然に囲まれた DIY カフェ&美容室

7p ペット LOVE! 猫 グッズプレゼント付き





新鮮な自家製ネギを
ブーケにアレンジ

Photo by 宮田 真紀子

牛久市内で野菜栽培を手掛ける井堀実香さん(34歳、龍ヶ崎市在住)は異業種から農家に転身。長靴姿で農作業に励む傍ら、「農園歌手・風舞美樺」としても活動する。

自然相手の作業は壁にぶつかることも多いが、興味があることは「やってみなくちゃもったいない」。季節の風や日差しを日々浴びて楽しみながら汗を流している。

興味があるなら

IT企業からネギ農家、そして歌

やってみなくちゃもったいない!

時折吹く心地良い風、降り注ぐやわらかい日差し。日焼けは避けられないが「いつの間にか気にならなくなりました」と白い歯をのぞかせる。

農業の道を志し5年目を迎え、現在牛久市内の1.4畝の畑でネギを栽培している。一般的なネギのほか甘みや鮮やかな見た目が特長の赤ネギなど実際に食べて気に入った5~7品種を作付けし、収穫体験では訪れる人に数種を食べ比べてもらう。「ネギと一口に言っても、味や辛み、見た目も違うんです」。炒めるだけから、炊き込みご飯、カレーなどさまざまな食べ方も提案している。

「やってみる」精神

県内のIT関連会社に勤めていた20代後半、現実の農園と連動したゲーム制作に携わり、農業に興味を持った。もともと「生まれたら後は死に向かうだけ。やってみたいことは実行しないもったいない」と思う性分。家の近くで見つけた貸し農園で試行錯誤を繰り返しながら野菜の栽培をスタートした。最初に作ったミニトマトは、強風で莖

が折れてもたくましく成長。真っ赤に色付いた艶やかな実は、頬張ると口の中で皮がパチンとはじけた。「みずみずしくて味が濃くて。感動的においしかった」。食べ物を作る素晴らしさを実感した瞬間だった。

一人じゃ何もできない

本気で農業をやりたい気持ちは日増しに強くなった。会社勤めの傍ら、農業大学校(茨城町)の講座で基礎を学び、受贈仲間の農家で実務を研修させてもらった。小さな畑を借りた最初の冬。昔から好きで、年間を通して需要があるネギを専門に手掛け始めた。日々の天気予報に胃が痛くなることもあったが、目の前の作物は愛情と手間をかけた分だけしっかり育つ。ようやく収穫に至ると「目に見える達成感」に力が湧いた。畑探しや作付けなど壁にぶつかるたびに多くの人の助言をもらって乗り越え「一人じゃ何もできないんだ」と気付いたのも収穫だった。若手農家グループに入り、苦手だった人付き合いもいつしか克服した。

農×歌

井堀さんの「もう一つの顔」が農園歌手・風舞美樺(かざまみか)。活動は約1年半になる。もともと好きだった歌の世界。「農業が教えてくれた自然の素晴らしさや感謝の気持ち」を表現し、多くの人に発信することを知人から提案された。「よし、歌おう」。早速オリジナル曲の制作を依頼。トラクターの運転席などで練習を重ね、都内や県南の農業関係イベントなどで披露している。農業や自然への感謝を込めた歌詞を口ずさむと「心がじんわり温かくなります」。

将来の夢は地域の高齢者から子どもまで和気あいあいと野菜作りをしながら集える場所作り。若い農業者をもっと増やし、農業の楽しさを広めたい。やりたいことはたくさんある。これからも悩みや迷いが訪れるかもしれないが「楽しみながら、やってみなきゃ!!」

プロフィール

井堀 実香

いほり・みか



桜川市出身。
高校卒業後、美容関係やアパレル、
IT関連会社勤務を経て農業へ。

夫と愛犬と生活。
農業を長く続けるため、ジムに通い体力を養っている。
畑の様子など活動状況は
フェイスブックやインスタグラムで発信中。

しかくいやすい 検索

「風舞美樺」の曲はインターネットで配信中。